

学校防犯マニュアル見直しを要望

子どもたちの安全確保を

横浜市会議員 仁田まさとし

4月の市議選後、初め 査委員に選ばれました。ての市会定例会が5月17 5月29日に開かれたこ 日から6月4日まで開か ども青少年・教育常任委 員会では、28日に川崎市

ルく不審者の侵入防止と 登下校時の安全確保のた めに」の見直しと改訂 をすべきと質したところ、

今年度は常任委員会 で発生した小学生らが被 害を受けた極めて痛まし 委員会委員」として、特 別委員会では「基地対策

鯉淵信也教育長から検討 する旨の答弁を得られま した。

活動することになりまし 2010年に改訂され

さらに、公明党横浜市 会議員団は6月4日、林

た。また、市の事務の執 ている横浜市教育委員会 行などをチェックする監 の「学校の防犯マニユア

対して、「子どもたちの安 全確保に関する要望書」 を提出し、子どもたちの



仁田まさとし プロフィール

- 子ども青少年・教育委員会
- 基地対策特別委員会
- 監査委員

◇施政方針は「動く、創る、変える。」
ホームページ <http://www.nitta-m.jp/>
f ⑨ ライン 情報発信中

「学校保健安全法」とい

今後対象世帯の所得

公明党市会議員団は1 992年に横浜市会で初 めて小児医療費の自己負 担の無料化を提案しまし た。以来、一貫して制度 の拡充を求め続けてきま した。

今年4月から小児医療 費の助成事業の対象が、 従来の小学6年生までか ら中学3年生までに拡大 されました。

小児医療費無料化対象が拡大

「学校において」となっ ており、法のあり方も今後 の見守り活動といった情 報共有が必要と考えます。

う法律では、第27条と第 30条に「学校において、 児童生徒等の安全の確保 を図るため（以下略）」と あります。法に規定され ている子どもの安全確保 と真摯に対策について検 討することが重要です。 その上で、地域や家庭で の見守り活動といった情 報共有が必要と考えます。

子どもを守るためには、 学校や教師の献身性に寄 りかかった対策だけでは なく、警察、警備員の専 門職の配置など、専門家 と真摯に対策について検 討することが重要です。

私は今後も子どもたち の安全、安心確保と「誰 もが子育てしやすい横浜」 を目指していきます。